



医療法人 美郷会

こころはす小針 のご紹介

『こころはす小針』は有料老人ホーム、デイサービス、訪問介護事業所、こころはすクリニックが併設されております。これらのサービスが連携し、「住み慣れた環境」で「住み慣れた地域」で生き生きと安心して生活が送れるように支援しております。特にクリニックが併設しておりますので、日々の健康確認や、緊急の体調不良時の対応がスムーズに行えることが特徴であり、入居者の方に安心感を提供できております。

入居者の9割くらいが西区在住の方です。その為、ご家族やご近所で付き合いのあった知人の方など、毎日面会者が訪れます。また、地域の傾聴ボランティア、演奏や踊りのボランティアの方など地域の方の出入りも多く見られます。今後も地域に根差した施設を目指していきますので、よろしくお願い致します。

ご見学ご相談は随時承っておりますので、お気軽にいつでもご連絡下さい。



こころはす小針 施設長 松井正

みさと

Misato

— 美郷会理念 —

人と地域にやさしいオアシスを目指します



無料 巡回バス運行中

毎週月～土曜日に病院への巡回バス(無料)を運行しています。当日病院の利用がない場合でも、交通手段としてご利用いただけますので、どうぞお気軽にご乗車ください。

< 升潟コース >

病院発	9:20	10:20	11:20	12:20
升岡農村公園	9:30	10:30	11:30	12:30
病院着	9:40	10:40	11:40	12:40

< 町内コース >

※土曜日は、★の便の運行はありません。

病院発	8:50	9:50	10:50	11:50	13:00	★14:00	★15:00
こころはす西蒲	8:53	9:53	10:53	11:53	13:03	★14:03	★15:03
商店街(八番町)	8:55	9:55	10:55	11:55	13:05	★14:05	★15:05
越後曾根駅前	9:00	10:00	11:00	12:00	13:20	★14:20	★15:20
横島団地(栄橋)	9:05	10:05	11:05	12:05	13:23	★14:23	★15:23
旧竹園高校前	9:10	10:10	11:10	12:10	13:26	★14:26	★15:26
病院着	9:15	10:15	11:15	12:15	13:30	★14:30	★15:30

お知らせ

西川地区の福祉巡回バス「あじさい号」が、当院にも立ち寄ります。詳細はホームページや院内掲示にてご確認願います。

医療法人 美郷会

西蒲中央病院

- 認知症対応型通所介護「デイサービスセンターみさと」
TEL:0256-88-5521 FAX:0256-88-5531
- 通所リハビリテーション
TEL:0256-88-0024(直通)
- 居宅介護支援事業所「ケアプランセンターチューリップ」
TEL:0256-88-0180(直通) FAX:0256-88-0181
- 訪問看護ステーション ●訪問リハビリテーション
TEL:0256-88-0171(直通) FAX:0256-88-0172
- 新潟市在宅医療・介護連携ステーション西蒲
TEL:0256-88-0022(直通) FAX:0256-88-0033
- NEW ●西蒲中央病院みさと訪問看護ステーション
TEL:025-211-2116(直通) FAX:025-211-2126

住宅型有料老人ホーム こころはす西蒲

- 短期入所生活介護事業所「ショートステイこころはす西蒲」
- 通所介護事業所「デイサービスセンターこころはす西蒲」
- 居宅介護支援事業所「こころはす西蒲」
- 訪問介護事業所「こころはす西蒲」
TEL:0256-88-3113
FAX:0256-88-3115

住宅型有料老人ホーム こころはす小針

- 「こころはすクリニック」
- 通所介護事業所「デイサービスセンターこころはす小針」
- 居宅介護支援事業所「こころはす小針」
- 訪問介護事業所「こころはす小針」
TEL:025-234-3800
FAX:025-234-3810

こころはす横尾

- ショートステイ「こころはす横尾」
TEL:025-211-8325
FAX:025-211-8326

こころはす亀貝

- ショートステイ「こころはす亀貝」
TEL:025-260-0261
FAX:025-260-0268
- デイサービスセンター「こころはす亀貝」
TEL:025-260-0255
FAX:025-260-0256

こころはす五十嵐

- ショートステイ「こころはす五十嵐」
TEL:025-201-6363
FAX:025-201-6360

社会福祉法人 友愛会

グループホーム ゆうあい

- 認知症対応型 共同生活援助事業所
TEL:025-268-6840 FAX:025-268-6841

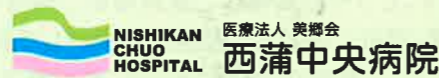
グループホーム ひまわりの家

- 認知症対応型 共同生活援助事業所
TEL:025-272-2701 FAX:025-272-2710

編集後記

【みさと編集委員会 佐久間】

今年の冬は雪も少なく、春の足音も例年より早く聞こえてきました。さて今年に入り新型コロナウイルスが騒がれ初め、新潟県内でも3月より感染者が出始め、現在に至るまでその数を増やしています。予防のためにはマスク、手洗いなどが大切ですが、そのマスクもなかなか手に入らないのが現状です。そのような状態ですが、こまめに情報を取りつつ個人でできる範囲での予防を行い、人混みにはなるべく行かないようにするなど、1人1人心掛けて日常を過ごし、この大変な時期を共に乗り越えていきましょう。



発行責任者: 院長 松田 博人
〒959-0423 新潟県新潟市西蒲区旗屋731番地
TEL/0256-88-5521(代)
FAX/0256-88-5531



http://www.misatokai.or.jp/

西蒲中央病院

検索



令和2年2月22日(土)美郷会・友愛会合同集談会を開催いたしました。この会では年に一度、各部署それぞれの専門分野で、研究結果や課題の取り組みなどをまとめ、成果を発表し合うものです。今年で15回目を迎えました。職員全体としてのレベルアップにより、地域貢献に繋がるよう、努力を継続したいと考えます。

●地域包括ケアシステム・超高齢化社会に求められる新しい介護の形

- 知ったく情報 花粉症とマスクの付け方
- 地域連携相談室からのお知らせ

- こころはす小針のご紹介 ● 無料巡回バスのご案内



《地域包括ケアシステム・超高齢化社会に求められる新しい介護の形》

2025年は「団塊の世代」の人すべてが75歳以上の後期高齢者になる年です。少子高齢化が加速する中、2025年以降は、国民の医療や介護の需要が増えることが想定されています。こういった背景から、国は、医療と介護を病院や施設等で行うものから在宅で行うもの「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。

地域包括ケアシステムとは？

地域包括ケアシステムとは、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助け合う制度のことです。それぞれの地域の実情に合った医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供する体制を目指しています。介護保険制度と医療保険制度の両分野から、高齢者を地域で支えていくものとなります。

法人としての取り組み

地域包括ケアシステム基本方針である「予防、生活支援、介護、医療、住まい」5つの事業について取り組んでいます。

● 介護予防・健康づくり、社会参加の推進(予防)

● 生活支援サービス等の充実(生活支援)

今後は子供から高齢者まで障害や認知症の有無にかかわらず、それぞれの生きがいや役割を持つことで自発的な参加意欲が生まれ、町中に「地域の茶の間」で身近な栄養指導や軽食を取りながらの話し合いの場を設ける。支えあう地域が作られ、一人ひとりの介護予防や健康寿命の延伸につながることを目指しています。

● 介護保険サービスの充実(介護)

訪問・通所型や、地域密着型在宅系サービス、介護施設系の各種サービスを提供しています。(訪問看護・訪問リハビリ・通所リハビリなど)

今後も、高齢者の方が疾病等抱えても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるよう、在宅医療の充実を図ります。医療・福祉・介護など多職種の連携により、看取り迄、切れ目ない医療・介護サービスの充実した提供体制を目指します。

理事長 江部 和人

● 在宅医療・介護連携、認知症施策の推進(医療)

在宅医療の充実を図るために、医療・福祉・介護など多職種の連携により、看取り迄切れ目なく医療サービスを提供しております。(医師による自宅等への訪問診療・往診、24時間訪問看護ステーションによる看護・リハビリのサービス提供)

● 住まい、施設の基盤整備の推進(住まい)

住まいと介護、施設サービスは在宅での介護が困難な方の地域密着型サービスや、複合介護施設ころはすグループ、認知症グループホームなどの受け入れ体制を整備し、安心・安全な医療、介護の一体化したサービス提供を行っています。

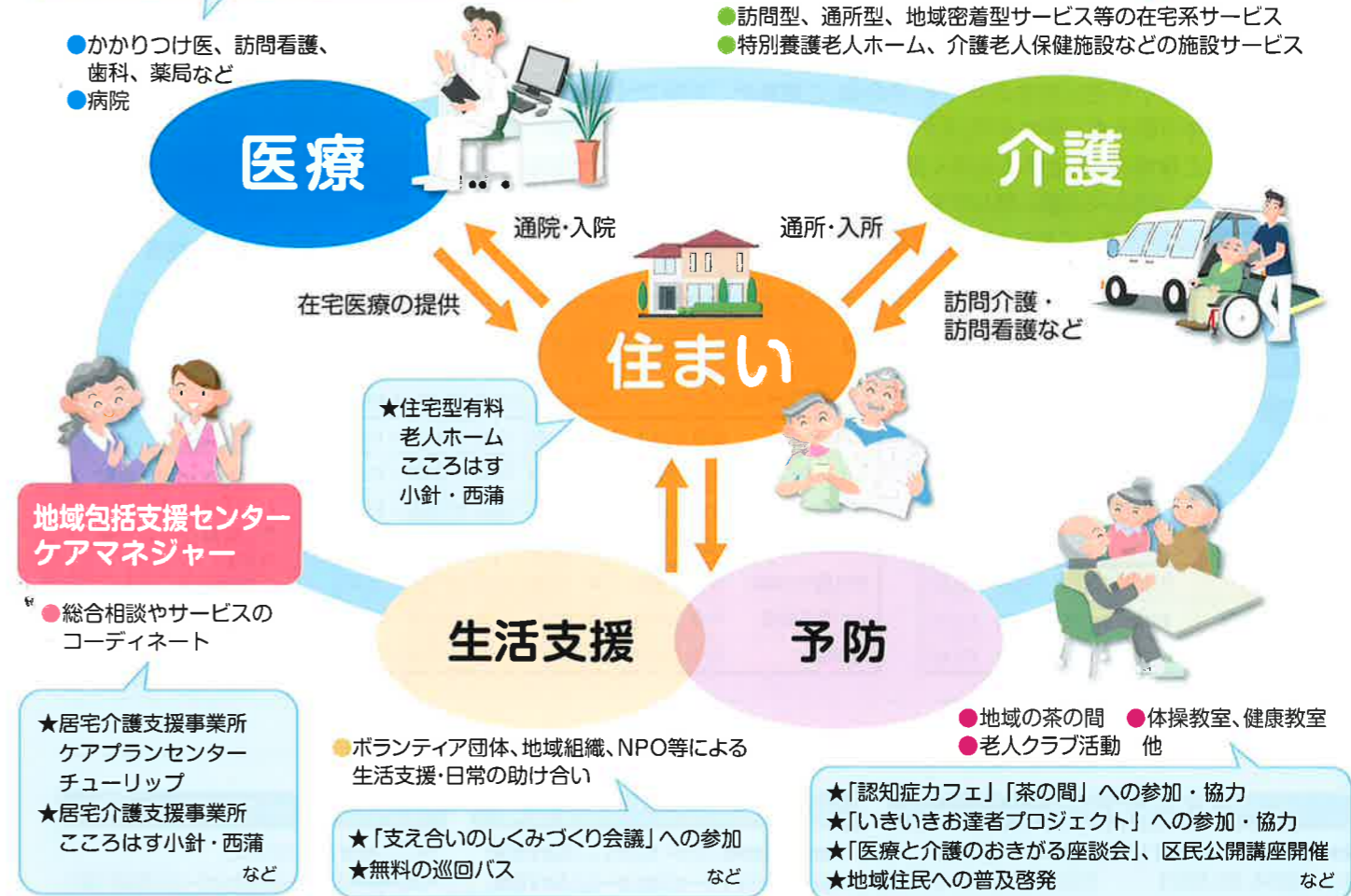
法人の取り組み

- ★西蒲中央病院 (訪問診療、往診、地域包括ケア病棟…)
- ★地域連携相談室
- ★訪問看護ステーション
- ★新潟市在宅医療・介護連携ステーション
- ★「西蒲区在宅医療ネットワークの集い」参加 など

- ★通所リハビリテーション
- ★認知症対応型通所介護デイサービスセンターみさと
- ★訪問看護ステーション (訪問看護、訪問リハビリ)
- ★在宅栄養指導
- ★ショートステイころはす西蒲・亀貝・榎尾・五十嵐
- ★デイサービスセンターころはす小針・西蒲・亀貝
- ★訪問介護事業所ころはす小針・西蒲 など

- かかりつけ医、訪問看護、歯科、薬局など
- 病院

- 訪問型、通所型、地域密着型サービス等の在宅系サービス
- 特別養護老人ホーム、介護老人保健施設などの施設サービス



Shittoku Joho 知っく情報

今回のテーマ

花粉症とマスクの付け方



春になり、花粉症に悩む季節となりました。今年は暖冬でまた昨年の夏が暑かったため新潟でも花粉症が流行すると思われます。花粉症に対して、最近では有効な抗アレルギー薬が処方されています。花粉症の始まる前に服用して終わる頃まで飲めば、症状はかなり抑えられます。抗アレルギー薬には、眠気の強いものや弱いものがあり、患者様の希望により選ぶことが可能です。点眼薬は、防腐剤のついていない、コンタクトレンズをつけたままでも点眼できるものもあります。点

鼻薬は、使いやすい粉状のタイプも医療用としてあります。花粉症の薬も徐々に進歩しています。また、マスクは花粉症に有効といわれています。今は新型コロナウイルス肺炎の流行で品薄状態となっています。マスクの正しい付け方は、諸説がありますが、一般的には、プリーツの向きで裏表を判断するそうです。表は、プリーツの襞を下向きにして花粉が溜まらないようにし、裏は襞を上向きにするのが正しい付け方だそうです。有効な薬を服用しマスク着用して花粉症を克服してください。



院長 松田 博人

地域連携相談室からのお知らせ

当院では1階ロビー(公衆電話の隣)と各病棟のナースステーション前にご意見箱を設置しております。今回、ご意見箱にお寄せいただいたご意見の中から一部掲載いたします。

医師、看護師ともに感じの良い方が多くて、患者も過ごしやすく入院生活が送られそうです。(令和2年1月、入院患者さんご家族より)

この他にも、お気づきの点等ご指摘をいただいた内容については、全部署に周知し対応を検討、改善に努めております。ご相談内容やご意見については秘密を厳守し、相談により不利益を受けないよう適切に配慮し対応しています。どうぞお気軽にご意見箱をご利用ください。また、地域連携相談室では、さまざまな心配事や、医療・介護・福祉に係わるご相談をお受けしております。どこに相談したらよいか分からない、という場合にも、ご相談の内容に応じて、他医療スタッフや地域の他機関と連携し、解決のための方法を一緒に考えさせていただきます。お気軽にお声かけください。

◎ 地域連携相談室 TEL/0256-88-0022(直通) FAX/0256-88-0033(直通)

